



# 新潟クボタ大豆研究会通信

<NO.5>

(株)新潟クボタ  
ソリューションチーム

平成22年6月15日

## ●今年注目の新技術！「中耕培土1回」で作業能率アップ！！

大豆作業の中でも「中耕培土」「雑草対策」のお悩みを抱えているお客様は多いと思います。今年の中耕培土作業に向けて、おすすめの新技術をご紹介します！



昨年もお好評いただいた「小橋 中耕ディスク (DC301)」に、「丸山 同時除草剤散布機」をセットすることで、高能率で中耕培土をしながら、同時に除草剤（ロックスまたはトレファノサイド）散布を行うことができます。

中耕ディスクは、通常のロータリーカルチと比べて動力を使わないので、低馬力でも2.5倍の作業スピードで、多少湿った土でも培土可能です。また、同時除草剤散布機により根際までキレイに除草できるので、「中耕培土1回」で雑草の発生を抑えることができます。



ノズルを変更することで、車速5km/hまでの高速作業可能です。  
(散布量100～150ℓ)



小橋、丸山、クボタと、農薬メーカーのダウケミカル、丸和バイオケミカルの5社が協力し、新潟クボタ中央サービスセンターで散布量テストを行いました。



うね幅に合わせて前後輪の幅を変えられる、クボトラクタKL5150HWT (ワイドトレッド仕様) に装着すれば、さらにベストマッチです！

第2回現地研修会で各実証ほにて実演予定ですので、ぜひご来場ください！





## ● 栃尾・魚沼でも大豆300Aに挑戦！

新発田・長岡・上越の実証ほだけでなく、今年は新たに栃尾と魚沼でも大豆機械化体系の応援をさせていただきます。

### ～耕作放棄地を活用した大豆づくり(栃尾)～



栃尾名物「あぶらげ」を地元産の大豆で作ろうと、栃尾の農家の方々とあぶらげ店などが集まり、「栃尾食と農の連携プロジェクト」を結成。

(農)下塩農産様、自動車部品製造・販売の新潟部品様が中心となり、耕作放棄地を利用した大豆づくりに今年から取り組んでいます。

新潟クボタも、土づくりから機械化体系の応援をさせていただいており、6月8日付の新潟日報にも掲載されました。

### ～米どころで初めての大豆に挑戦(魚沼)～



魚沼普及センター様と(農)一日市ひかり農産様が協力し、地域ではじめての大豆づくりに挑戦されており、新潟クボタも応援させていただいています。

非常に石の多い土地で苦戦しながらも順調に作業は進み、これからの生育が楽しみです。

実は、地元には納豆などの大豆加工業者が意外と多くあるそうなのですが、今までは地元の大豆を使いたくても、全く作付がなかったそうです。

## ● 大豆研究会「第1回現地研修会」を開催しました

5月25日、28日、6月4日に大豆実証ほ3会場にて「大豆研究会 第1回現地研修会」を行いました。長岡・上越では、雨のため予定していた作業は延期となってしまいましたが、マルチスプレッタとコンボスキャッタによる肥料散布を実演させていただきました。

新発田では天候に恵まれ、予定通りバーチカルハローによる碎土、アップカットロータリによる耕うん畝立同時播種、ハイクリブームによる除草剤散布などを行いました。

ご来場ありがとうございました。



### 大豆の根を見る会

第2回現地研修会の日程は、別紙のチラシをご覧ください。当日は「大豆の根を見る会」も一緒に開催予定です。実際に大豆の根を掘り、地上部だけではわからない大豆の生育状況を学びますので、ぜひご来場ください。よろしくお祈りします！

